行きます・聞きます・提案します

～商工会の支援事例～ 5

創業者が持続的な売上向上を実現するための伴走支援

八橋ぱん：津幡町商工会

「週三回通いたくなるパン店」がコンセプト

「八橋ぱん」は、大手パン店の店長などを務めた経歴をもつ八橋直也氏が、平成二十七年四月に開業したパン店です。「いつ来ても楽しくなるパン屋さん」を目指して、美味しいパンはもとより、外国産飲料やパンナイフといったパン以外の関連商品も取り扱っています。

販売スペースには、パン店には珍しい対面販売方式のカウンターを用いており、お客様とコミュニケーションを図りながら、パンのおいしさをしっかりと伝えています。また、プライスカードに商品の原材料を表記しているため、アレルギーをお持ちのお客様や小さな子どものいるお客様にも、安全と安心を提供しています。



事業主の八橋氏と奥様

創業計画書の作成をきめ細やかに支援

当初、開業に係る諸手続きや創業計画書の作成に係る相談を受けたことが、今回の支援のきっかけです。

創業計画書の作成にあたっては、八橋氏と面談を重ねながら、「他店と差別化した商品の提供による新規顧客獲得」を基本方針とした実現可能性の高い五ヵ年計画書を策定しました。計画を進めるにあたっては、ミラサポ専門家派遣制度（中小企業庁）を活用し、専門家の見地からも店舗運営や商品企画、広告戦略等について指導・助言を仰ぎました。

持続化補助金を使って期間限定の新商品を開発

こうして店舗をオープンさせた後に、次なるステップとして、原材料に地域資源を使ったパンを開発するため、公募が開始されていた「小規模事業者持続化補助金」を活用し、期間限定の新商品「能登ミルクリームパン」の試作及び無料配布イベントの周知を図るチラシの作成を実施しました。

これによって、能登地区産の牛乳と鶏卵を使用した高品質のクリームパンが完成しました。チラシの配布と相まって、町内の話題となり、新規来店客数が増加しました。



期間限定商品「能登ミルクリームパン」と無料配布イベントの告知

（現在は取り扱っていません。）

商工会の各種事業を活用し、販路拡大を支援

販路開拓・拡大に寄与する支援としては、津幡町商工会が運営するフェイスブックページを用いて当店の新規開店情報を広く発信したほか、「いしかわ商工会ベスト店賞の推薦及び表彰（主催：石川県商工会連合会）」、「津幡町商工会合同チラシ」、「津幡町並行在来線地域活動サポートモデル事業（ＩＲいしかわ鉄道一周年記念イベント）」など商工会の部会事業や地域振興事業を活用し、津幡町内外の消費者に向けて当店のＰＲを実施しました。

その結果、店舗と商品の認知度が向上し、新規来店客数が増えて、売上向上につながりました。



津幡町商工会合同チラシで店舗や商品の認知度が向上

今後も持続的な売上向上を目指す

その後、当店では冷蔵ケース導入によるサンドイッチ類の充実や淹れたてコーヒーの販売を開始するなど、持続的な売上向上に向けた取組を次々に展開しています。

商工会としても、今後も当店の新たな取組に対して、継続的な支援を続けて参ります。

担当経営指導員から一言

今回、創業から創業後のフォローアップまでを一貫して支援することで、販路開拓・拡大に寄与することができました。

今後も、新規創業予定者の円滑な開業及び開業後の持続的な売上向上が図られるよう、きめ細やかな支援を実施していきたいと思っています。

担当経営指導員・執筆
津幡町商工会
経営指導員　林　知宏

八橋ぱん
〒九二九－〇三四一
河北郡津幡町横浜ろ七十－五
℡〇七六－二二五－七二一一

林指導員の行った八橋ぱん様への支援は、平成二十八年度石川県商工会優秀支援事例の最優秀賞を受賞しました。